

秦野市多世代交流施設整備に向けた 市民ガイダンス

令和8年7月26日 18時～

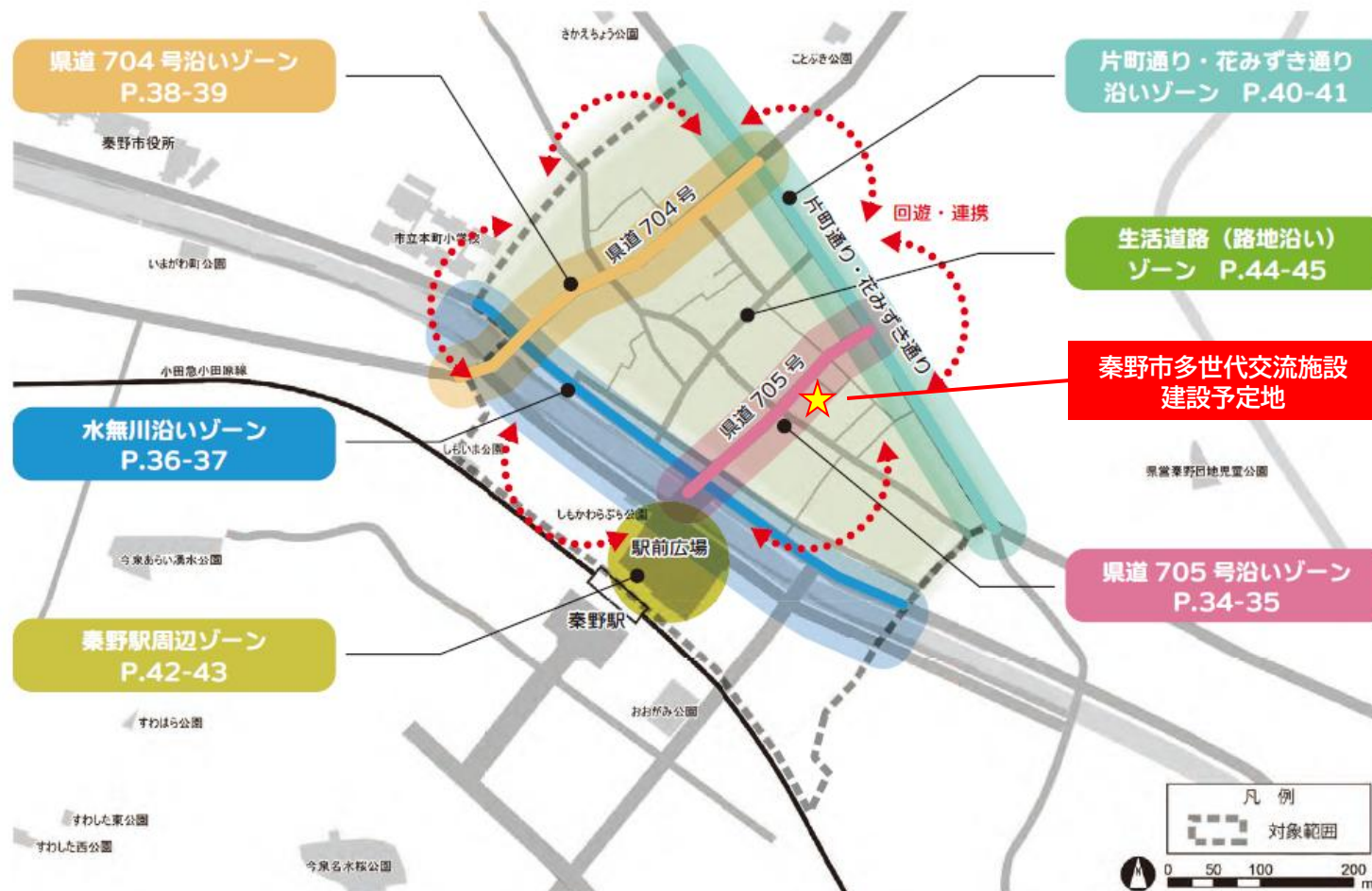
本町公民館 2階 多目的ホール

秦野市多世代交流施設整備に向けた 市民ガイダンス

- 1 本日の開催目的
- 2 秦野市多世代交流施設の施設概要の共有
これまでの市民ワークショップ等の結果共有
- 3 秦野市多世代交流施設整備基本計画案に関する情報提供

開催目的

- 秦野駅北口周辺地域のにぎわい創造に向けて、市民や商業者、事業者等と行政が連携してまちづくりに取り組んでいくために、「秦野駅北口周辺まちづくりビジョン」を策定しました。
- その中で、道路の拡幅整備等を進めている県道705号の沿道について、市民や来訪者などの多様な人々が集まり、活動や交流できる市の中核となる拠点（秦野市多世代交流施設）を設置し、その拠点を中心に生まれたにぎわいが他のゾーンに波及することを目指しています。
- そこで、現時点での秦野市多世代交流施設に関する検討状況の概要について、市民の皆さまに情報を共有するものです。



1 秦野駅北口周辺のにぎわい創造に向けて

(1) 秦野駅北口周辺まちづくりビジョン（令和5年11月）



まちの歴史、文化、都市の現状・課題を整理
⇒ 目指したい地域の将来像を設定。

— 名水と歴史がつなげる未来 —
しなやかな街なか暮らし

鉄道駅、道路や河川、街並みの構成をもとに、
特徴的な6つのゾーンを設定（右図）。
それぞれ今後20年の取り組みの工程を定め、
理念やまちの価値を、次の世代へつないでいく。



まちづくりビジョンの
実行計画（5か年計画）

— 名水と歴史がつなげる未来 —
しなやかな街なか暮らし

課題

中心都市拠点としての 都市機能の強化	人々の暮らし・活動の 中心となる通りの再生	まちなか暮らし の推進	地域資源の活用によ る持続可能なまちの実 現
-----------------------	--------------------------	----------------	------------------------------

基本
方針

人との交流・活動が 生まれるまち	“はだの”ならではの楽しみ があり、歩きたくなるまち	便利で快適で 住み続けられるまち
---------------------	-------------------------------	---------------------

目標
R11

目標① 交流人口の拡大	目標② 歩道及び滞在空間の 快適性の向上	目標③ 生活利便性の向上
目標指標① 交流創出事業数 109回/年	目標指標② 通行者・滞在者数 平日108人・休日98人 滞在者のアクティビティ数 11種類	目標指標③ 中心市街地営業店舗数 154店舗 居住満足度 88%



計測

基準：34回/年（R5） 61回/年（R7）	基準：平日65人 休日56人、6種類（R4） 平日85人 休日74人、9種類（R7）	基準：150店舗（R4）、85%（R5） 162店舗（R7）、85%（R7）
---------------------------	---	---

(3) 秦野市中心市街地活性化基本計画（R7. 3 認定）

重点事業を含め、ハード・ソフト計52事業の事業を公民連携で展開し、関連を持たせながらにぎわい創造を推進していきます。



基本計画区域内で実施する事業

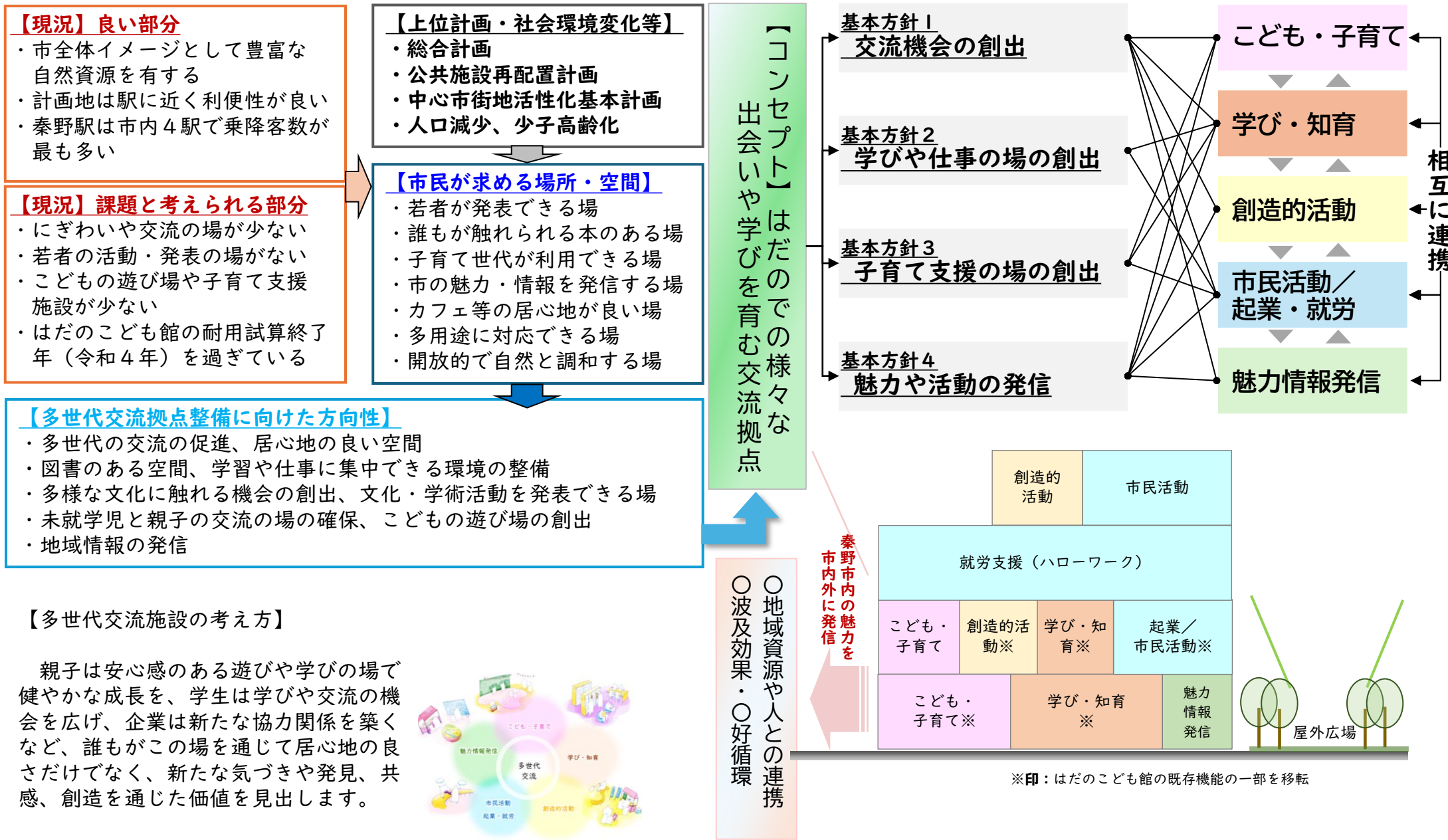
- ・まちなかこども支援拠点整備事業
 - ・まちなか若者活動拠点整備事業
 - ・市民活動スペース整備事業
 - ・まちなか健康づくり事業
 - ・まちなか図書館事業
 - ・市民学習講座事業
 - ・ギャラリー等の整備事業
 - ・多目的ホール整備事業
 - ・まちなか防災機能整備事業
 - ・魅力情報発信盤整備事業（施設内外）
 - ・秦野名水活用検討事業
 - ・公共施設ストックマネジメント事業
- 民間事業者による商業イベント・研究会事業
 - 商店街空き店舗対策事業
 - 商店街販売促進事業
 - 電子地域通貨関連事業
 - 商業施設建築利子補給金交付事業
 - 既存商業施設リニューアル整備費補給金交付事業
 - 秦野たばこ祭開催補助事業
 - 地域の回遊性に資するイベントの実施事業
 - まちなか開業サポート事業
 - 登録文化財の維持及び活用支援事業
 - レトロ空間形成支援事業
 - デジタル空間形成支援事業
 - 商店街等診断・サポート制度活用事業
 - 中小企業アドバイザー制度活用事業
 - 中心市街地活性化協議会運営支援制度活用事業
 - まちづくり会社設立支援事業
 - 地域ブランド推進補助事業
- ・多世代交流拠点関連事業
 - ・多世代交流拠点区画道路整備
 - ・滞在空間創出快適性向上支援事業
 - ・壁面後退用地整備事業
 - ・地区計画策定事業
- ソフト事業

一名水と歴史がつなげる未来—
しなやかな街なか暮らし

2 多世代交流施設整備の基本方針

(1) 多世代交流施設の方向性、コンセプト及び基本方針

現況の整理、多世代交流拠点の方向性、コンセプト、基本方針、5つの機能との関係性を示します。



(2) 市民との意見交換会などの経過

市民が求めている多世代交流施設のイメージや機能などを把握するため、ワークショップや市民懇談会を開催してきました。主な取組は次のとおりです。

開催実績	実施内容
令和7年 6月24日（火）	多世代交流施設整備市民検討会 市役所西庁舎にて開催 ※専門委員10名出席
令和7年 8月24日（日）	多世代交流施設ワークショップ はだのこども館にて開催 ※市民当日参加
令和7年10月18日（土）	多世代交流施設ワークショップ はだのこども館にて開催 ※市民当日参加
令和8年 2月21日（土）	本を通じた対話・交流ワークショップ 市役所講堂にて開催 ※市民当日参加
令和8年 5月31日（土）	市民懇談会 はだのこども館にて開催 ※市民当日参加

実施した結果、施設内の交流促進を目的に平面方向と上下階をつながりが感じられる空間計画に関する意見、様々な交流企画の開催や図書エリアでの会話あるいは飲食可とする運用に関する意見、通勤通学後に立ち寄れる営業時間とするような維持管理に関する意見をいただきました。

設計、建設又は運営を行う事業者を募集するに当たり、いただいた意見を参考に、募集条件となる要求水準書を作成していきます。

8月24日(日)、はだのこども館にて「みんなで語ろう！はだの交流施設ワークショップ」を開催し、秦野市在住・在学・在勤の方など約30名の方にご参加いただきました。

秦野駅北口周辺においてにぎわい創造に向けた多世代交流施設を整備するにあたり、昨年度作成した「多世代交流施設整備基本構想(案)」に掲げる5つの機能について、機能の使い方、追加で欲しい機能、他機能との連携アイデアなどについて、ワールドカフェ形式で皆さんからたくさん意見をいただきました。



これまでの交流施設に係る取組の中で、市民からいただいた御意見（抜粋）

- ・施設利用による体験の記憶を子の世代に伝えていける施設
- ・多くの市民に利用してもらえる敷居が低い施設
- ・完全に無音ではない新たな価値観に基づく居心地の良い図書のある施設
- ・遊び体験を通じて秦野の魅力に気付くことができる工夫のある施設
- ・市に興味を持ってもらえる、秦野のことが分かる施設
- ・木材を活用したぬくもりのある施設

これまでの検討経緯

時期	主な取り組み
R4.8 ～	にぎわい創造 検討懇話会開催
R5.8 ～	はだのミライ ラボの実践
R5.11	秦野駅北口周辺 まちづくり ビジョン策定
R6.10 ～	多世代交流施設 市民検討会開催
R7.3	中心市街地活性化 基本計画大臣認定

「多世代交流施設整備基本構想(案)」の概要

多世代交流施設とは、秦野駅から国道705号沿いの坂道を上った場所に、幅広い年代の市民や来街者の活動・交流の場となりにぎわい創造の拠点を形成することを目的に、整備を検討しています。

■導入機能イメージ



■具体的な機能イメージ

【こども・子育て】 こども・若者の居場所	・屋内遊び場 ・未就学児童の交流スペース ・学生交流ラウンジ
【学び・知育】 知識・好奇心を広げる場	・図書スペース ・学習スペース ・ワークスペース
【創造的活動】 創造・文化的活動の場	・ダンス・サウンドスタジオ ・文化・手芸等アトリエ ・屋外広場（芝生広場）
【市民活動/起業・就労】 多様な働き場の拠点	・市民交流スペース ・ミーティングルーム ・相談窓口 ・コワーキングスペース
【魅力情報発信】 地域・ひと・まちの情報発信	・情報発信コーナー ・物販・飲食スペース

導入機能のイメージ(事例写真)と参加者からいただいた主なご意見

テーマ①こども・子育て



ツナグテ

【岐阜県岐阜市】



ギャラクシティ

【東京都足立区】

- 屋内遊具広場
- ・全身を使うことができる遊び場が良い
- 未就学児童の交流スペース
- ・親の目が届き、こどもの年代を問わずに過ごせる環境が良い
- 学生交流ラウンジ
- ・若者、学生が多様な世代との接点や交流を持つことができると良い



テーマ②学び・知育



ちえなみき【福井県敦賀市】

- 図書スペース
- ・子どもが靴を脱いで本を読み、過ごせる場や、子どもが遊びながら学べる場が欲しい
- ・外国人も馴染める場が欲しい
- 学習スペース
- ・夜間も利用できる場が欲しい
- ワーキングスペース
- ・タブレットやPCを使える環境が必要



テーマ③創造的活動



武蔵野プレイス【東京都武蔵野市】

- ダンス・音楽スタジオ
- ・発表できる舞台が欲しい
- ・夜間まで利用できるホールが良い
- 文化・手芸等アトリエ
- ・作品を展示できるギャラリーが必要
- 屋外芝生広場
- ・水のある広場で水遊びがしたい
- ・屋外から利用できるトイレが必要



テーマ④市民活動/起業・就労

ARUYO ODAWARA
【神奈川県小田原市】

- 市民交流スペース
- ・学生、若者と地域の方々が対話を通じて活動機会の創造につながる場が必要
- 起業・就労
- ・自己分析や自己理解の機会を提供できる環境が欲しい
- ・地元での起業、就労を支援する場
- コワーキングスペース
- ・低コストで開業しやすいチャレンジスペースが必要



テーマ⑤魅力情報発信



ちえなみき【福井県敦賀市】

- 地域情報発信機能
- ・水が流れる場や歴史に根差したストーリーによる秦野名水の発信
- ・商店街マップや地域住民の自作マップで情報発信をしたい
- ・誰もが情報を知れる分かりやすい発信方法が良い
- 飲食・物販スペース
- ・秦野食材が食べられ、秦野の魅力を紹介できたり、子どもも食べられるカフェが欲しい



参加者の感想

自分の考えを伝え、ほかのメンバーの理解を得ることはできましたか？



次回のご案内 みんなでつくろう！はだの交流施設ワークショップ

日にち 10月18日(土)

時間 13:30~15:30
(13:00から受付開始)

会場 はだのこども館 多目的ホール

お子様連れ
大歓迎！

次回ワークショップの
詳細は後日
情報発信します！



秦野市公式LINE



はだのミライラボ
Instagram

本事業及び次回ワークショップに関するお問い合わせ先

秦野市役所 環境産業部 秦野駅北口にぎわい創造担当
☎ 0463-82-9615
✉ h-eki@city.hadano.anagawa.jp
担当：旗川、千葉



10月18日(土)、はだのこども館にて「みんなで作ろう！はだの交流施設ワークショップ」を開催し、秦野市在住・在学・在勤の方など15名の方にご参加いただきました。

8月24日(日)に開催した第1回ワークショップにて皆さんからいただいたアイデアを踏まえて作成した施設ゾーニング図(案)を見ながら、多世代交流施設から生まれる「にぎわいイベント」をテーマに、グループに分かれてイベント企画案を考えていただきました！



イベント企画案を考える時のポイント

多世代交流施設を最大限活用し、施設内や周辺地域をつなぐ「にぎわいづくり」のためのアイデアを考えよう！

本ワークショップでいただいたアイデアや意見は施設レイアウトや運営の参考とします

1 班

提案テーマ

バンブースプラッシュ

ねらい

秦野市(水、竹、そば…etc)を知ってもらう

ターゲット

全市民

内容

- 施設内で竹で作る水鉄砲ワークショップを開催
- 竹の水鉄砲を持って水無瀬川沿いへ！
- 対岸まで遠くに飛ばせられるか竹の水鉄砲バトル
- 昼食は、竹を使って流しそうめん 秦野の特産品のそばを流してもいいかも!!
- 流しそうめんは施設から商店街までできるだけ長く…目指せ！ギネス記録!!
- 施設内ではキッチンカーやバザーが出店
- 施設内だけでなく商店街も巻き込んだ一大イベントに！歩行者天国のような感じにしたい

2 班

提案テーマ

障がいのあるこどもや発達が気になるこどもについての勉強会

ねらい

障がいのあるこどもや発達が気になるこどもの子育てについて専門的に学ぶ

ターゲット

障がいのあるこどもや発達が気になるこどもの保護者

内容

- 屋内遊具施設は障がいのある子どもも遊べる“インクルーシブ遊具”に！※
- 時間帯で貸し切って障がいのある子どもが自由にのびのびと遊べる空間に！
- 屋内遊具施設の隣で、発達が気になるこどもと向き合うための子育てセミナーを開催
- 子どもがパニックになったときの対処法や、就学について、親の心の持ち方など専門家の先生を呼んで学びたい
- 土日開催で父母揃って参加したい！

※ インクルーシブ遊具
誰もが一緒に遊べるように設計された遊具



3 班

提案テーマ

多世代交流イベント

ねらい

子どもの成長と高齢者の生きがいをつなぐ

ターゲット

全世代

内容

- 子どもがやりたい事、高齢者が得意なことをまずは引き出す！
- それを高齢者が教えながら子どもと一緒にやってみる
- 教えることで力を伸ばし、発表・交流の場を生み出すサイクルが必要！
- まずはプロがこどもと高齢者のニーズを把握しマッチングする仕組みづくり(高齢者とこどもをきっかけに親世代にも拡大したい)
- 一回きりのイベントではなく、継続的な開催へ！



4 班

提案テーマ

秦野キッザニア

ねらい

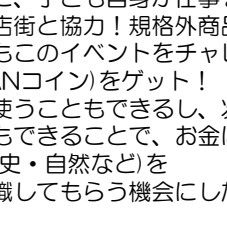
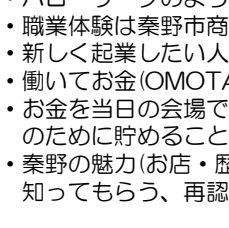
楽しみながらお金を“使う”“稼ぐ”“街を知る”

ターゲット

子ども(メイン)
新しく起業したい人、親

内容

- 子どもたちがチームを組んで職業体験
- ハローワークのように、子ども自身が仕事を探して興味を持ってもらう！
- 職業体験は秦野市商店街と協力！規格外商品の売り出しでロスを減らす！
- 新しく起業したい人もこのイベントをチャレンジの機会にしてほしい
- 働いてお金(OMOTANコイン)をゲット！
- お金を当日の会場で使うこともできるし、次のイベントのために貯めることもできることで、お金について学べる！
- 秦野の魅力(お店・歴史・自然など)を知ってもらい、再認識してもらう機会にしたい



参加者の感想

【第2回WSの満足度】



- 思いが色々ありますが、子どもと大人と一緒に過ごせる場所を作ってほしいです。
- いろいろな方と交流できて、楽しかったです！
- 市民全体が集まれるイベントが多くできるとありがたい！
- 世代別の考えがあって面白かったです。よりよい施設ができるのを願います。

パブリック・コメント募集中！

現在秦野市ウェブサイトにて、「秦野市多世代交流施設整備基本構想(案)」のパブリック・コメントを募集しております。(11月16日(日)まで)
詳細は、秦野市ウェブサイトをご覧ください！
URL：
<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1544578573775/index.html>

今後も引き続き公式SNS等で情報発信します！



秦野市公式LINE はだののミライラボInstagram



本事業に関するお問い合わせ先

秦野市役所 環境産業部 秦野駅北口にぎわい創造担当
☎0463-82-9615
✉ h-eki@city.hadano.anagawa.jp
担当：旗川、千葉



本を通じた交流・対話ワークショップについて（令和8年2月21日に開催しました）

今回は、まちなかでの交流を疑似体験

本の魅力・
対話の楽しさを
共有しよう

■ 広報ポスター（開催概要）

こんな場所
で
志が通みたい

参加者
募集！

「本のある場」から考えるはだのミライ
本を通じた交流・対話ワークショップ

2月21日（土）午後2時～午後4時30分

本を通じた学びや対話、交流が生まれる場を検討するため、
読書体験を共有しながら、本のある場について考えます。
本がもっと身近になる場について一緒に考えてみませんか？

テーマ1
読書対話「本の向こうに何がある？」

テーマ2
本のある場を考えよう！

定員 30名（申し込み先着順）

場所 秦野市役所 本庁舎3階 講堂
（秦野市役所1-3-2）

申込み方法 秦野市役所秦野駅北口にさかい創造担当へ電話または
メールでお申込みください。

どなたでもご参加いただけます。ぜひお気軽にご参加ください。

問い合わせ 秦野市役所秦野駅北口にさかい創造担当
電話：0463-82-9615
mail: h-eki@city.hadano.kanagawa.jp

本を通じたい
読書したい

ワーク1 - 「本が持つ『力』」ってなんだろう？～本を使って思考をひろげる『読書対話』～



ワーク1は、あたらしい秦野のまちなかで起こる交流を疑似体験。
本を使った対話の楽しさを共有しました。

【本の向こうに何がある？】という問いから対話をスタート。
4～5人のグループで、短時間でそれぞれ異なる本を読んで得ら
れた、「気づき」を共有するプログラムを行いました。

問いと対話を総括し、参加者に本が持つ「力」を考えてもらいました。
全体で **96個** の本が持つ「力」を発見しました。



ワーク2 - 読書や対話が楽しくなる場を考える



ワーク2では、新たな「多世代交流施設」の中の本のある空間の
イメージを具体的に膨らませました。

ワーク1で考えた「本が持つ『力』」を最大限にひきだすためには
場にどんなひと・もの・こと（要素）、ルール、雰囲気があったら
よいか、アイデアを膨らませました。

参加者が思い思いに考えた **17のアイデア**と、

グループごとの個性が光る **4のアイデア** が生まれました。



参加者のアイデア創出を助ける「ヒントカード」▲

ワークショップ参加者が思う『本が持つ力』を要素別にまとめました（令和8年2月実施）

■ 参加者による「本が持つ『力』」の抜粋 -①-

【分類Ⅰ】 本には「静」と「動」がある

安心・安らぎ 安心、心の安定、いやされる、心が安らぐ、落ち着く、眠れる

リセット 静、立ち止まる、他のことを忘れられる、敬虔

高揚感　ときめく、弾む、のぞける、ちょっと笑える、楽しい、ワクワクする

【分類Ⅱ】世界をみる眼がアップデートされる

視点の拡張 新しい視点、意識してなかったものごとに目がいく、逆の視点(想定外)、価値観

想像と創造 本の世界を創造、自分の世界がつかれる、未知の世界につれていってくれる

知恵と学び 知識が広がる、知恵、知らない漢字に会える、脳を刺激する

【分類Ⅲ】 つながりや共感のメディアになる

共感の広がり 共感、他者と一緒に泣ける、遠くにいる人と同じ考えができる、他人の経験を味わえる

交流の種 つながり、仲良くなれる、話の種、プレゼントしたくなる、人に話したくなる

【分類Ⅳ】未来へ向かう背中を押してくれる

励まし 支え、励まされる、頑張れる、自分の背中を押してくれる、自信がつく

未来のヒント 答え、自分の未来のヒント、明日がわかる、切り開ける

【分類V】 探求とアウトプットをやってみたくなる

知的ソワソワ感 疑問と答え、連想する、先が気になる、ひざを打つ、めくりたくなる

衝動の誘発 **なにか書きたくなる、まねしたくなる、言葉に力がこもる**

【分類VI】なぜか身体が〇〇したくなる

身体反応 おなかがすく、眼がつかれる、よふかし、視覚を刺激する

日常への接続 時がとける、ひっこしが大変になる(※本を愛するがゆえの悩み)

頻出ワード分析

よく出た言葉を大きく表示しました



*同義語の統一処理を行った分析では、

①読む ②対話 ③出会い ④落ち着く ⑤集まる ⑥自然・景色 ⑦子ども ⑧カフェ・飲み物 が上位になりました。

カテゴリ分析

言葉の種類を分類しました



■ **行為** をあらわす言葉 **58語**

読む、話す、対話、集まる、体験、紹介、考える、選ぶ
など

■ **空間** をあらわす言葉 **46語**

森、自然、景色、屋上、庭園、テーブル、カフェ、畳、ソファ、
小空間、丘 など

感情をあらわす言葉 29語

安心、落ち着く、ワクワク、楽しい、共感、励まされる
など

グループワークによる『本のある場』の検討結果とコンセプトの考察（令和8年2月実施）

発表シート

宣言文

この施設は **森と丘に人が集まれる** 場所です！

大切にするキーワード

① つながり(人と本と自然) ② 知識が広がる ③ やすらぎ

発表内容(要約)

(▼こんな空間にしたい！)

人と人、本と人、人と自然がつながりあう施設になるといい。森や丘のほかに、カフェスペースの意見も。この町には外国の方も多いので、集まって、つながりを持てる場所づくりというのがこのチームの総合的な意見だった。

(▼対話の経緯)

ワーク1で読んだ『毎日読みます』という本の、「図書館は長居せずに借りて帰りたい。なぜなら寝転がって読みたいから。」という文がやけに目にとまり、だったらゆっくり転がれるスペースが公共施設にあればと思いつき、(他の施設でも見聞きしたことがある)「丘」という意見を出した。そこから対話が膨らみ、さらに「森」もいいのではと言ってくれた人がいたのでこのような宣言文ができあがっていった。

小まとめ：グループ対話から見えたコンセプト

人々が自然に交じり合える「集いの場」／滞在そのものが目的となること／身体的にも多様なふるまいのできる多機能な空間／森(静謐)と丘(解放的)の両面性

発表シート

宣言文

この施設は **誰でも受け入れる** 場所です！

大切にするキーワード

① 融合 ② 多世代・多文化 ③ リラックス

発表内容(要約)

(▼こんな空間にしたい！)

ワーク1で触れた内田樹著の本にあった、「図書館は敬虔な場」という言葉から、人類の知の壮大な蓄積に圧倒される図書館的空間というのは、大切な場所だと感じた。一方、本をベースに、様々な人が出会ったり、くつろいだり。そして新しい自分を発見できる新しい空間とも捉えたい。

キーワードの「融合」とは、この施設に老若男女様々な属性の「人」が、集中していたりお菓子を食べてお話をしていたり(「行為」)が混ざっていること。また、分類の工夫や、絵本とビジネス書が交わるような3冊選書棚など、関心を飛び越えて、本と出会う工夫が欲しい。海外書は、原著で読めるのもいいし、外国の方との交流のきっかけにもなる。畳に寝転がれる、川などの自然が味わえる景色の良さなどのリラックス要素も取り入れたい。

小まとめ：グループ対話から見えたコンセプト

フィルターバブルよりセレンディピティ／「ジャンルの越境」による新しい知のスタイル／「静寂」と「賑わい」が両立する空間デザイン／心理的ハードルの低い寛容な空間

発表シート

宣言文

この施設は **誰でも受け入れる** 場所です！

大切にするキーワード

① 融合 ② 多世代・多文化 ③ リラックス

発表内容(要約)

(▼こんな空間にしたい！)

ワーク1で触れた内田樹著の本にあった、「図書館は敬虔な場」という言葉から、人類の知の壮大な蓄積に圧倒される図書館的空間というのは、大切な場所だと感じた。一方、本をベースに、様々な人が出会ったり、くつろいだり。そして新しい自分を発見できる新しい空間とも捉えたい。

キーワードの「融合」とは、この施設に老若男女様々な属性の「人」が、集中していたりお菓子を食べてお話をしていたり(「行為」)が混ざっていること。また、分類の工夫や、絵本とビジネス書が交わるような3冊選書棚など、関心を飛び越えて、本と出会う工夫が欲しい。海外書は、原著で読めるのもいいし、外国の方との交流のきっかけにもなる。畳に寝転がれる、川などの自然が味わえる景色の良さなどのリラックス要素も取り入れたい。

小まとめ：グループ対話から見えたコンセプト

フィルターバブルよりセレンディピティ／「ジャンルの越境」による新しい知のスタイル／「静寂」と「賑わい」が両立する空間デザイン／心理的ハードルの低い寛容な空間

発表シート

宣言文

この施設は **誰でも受け入れる** 場所です！

大切にするキーワード

① 融合 ② 多世代・多文化 ③ リラックス

発表シート

宣言文

この施設は **大好きが集まっている** 場所です！

大切にするキーワード

① 秦野 ② 自然 ③ 食

発表内容(要約)

(▼こんな空間にしたい！)

キーワード「秦野」とは、秦野の自慢の豊かな自然景色(富士山がみえるのがいい！)が望める建築で、イスなどの家具も秦野の木材から生まれていたら嬉しいという思い。「自然」とは、秦野の食材が週1回で販売されていてほしい。「食」とは、カフェのメニューにわくわくするものがあってほしい。

(▼起こしたい具体的なシーン)

カフェで食べられたら素敵なものの筆頭は、ぐりとぐらのパンケーキ。ほかにも絵本から飛び出してきたような食べ物や、それにまつわる絵本を置く。野菜のマルシェでも、傍らに農業や野菜に関する本を置く。また、本の表紙をかくして系統だけ表示し、シークレットで置く案も。様々な方法で、新しい本との縁が生まれる楽しい空間になるといい。

小まとめ：グループ対話から見えたコンセプト

土地のアイデンティティを生かした郷土の魅力あふれる空間／五感で楽しめる体験型施設／仕事や食などの「生活」から「知」へとつながるプロセス／遊び心とワクワク感

発表シート

宣言文

この施設は **大好きが集まっている** 場所です！

大切にするキーワード

① 秦野 ② 自然 ③ 食

発表内容(要約)

(▼こんな空間にしたい！)

素敵な絵を描いた。ベッド、ソファ、椅子などで本の読み聞かせが行われている良いシーン。自宅のようにリラックスできる場所として、「ほぼ家」というワードが自然に立ちあがった。ワーク1でも、本を読む環境についてあげる意見が多かった。やすらぎ、靴を脱ぎたくなる、寝転がってみたいくなる、など。

(▼この施設でこうなりたい！)

楽しさ・わくわく感といった明るい感情と、知識が豊富になる、人の経験を味わい想像したくなる、真似したくなるなどの本の効能も意見にあがった。知識や自信をつけることで、自分を否定せずに大事にできるようになる場所。そうした効果が周りの人、その場で出会った人にも広がるような、例えば「褒め合う」などの温かなプロセスのある施設になるといい。

小まとめ：グループ対話から見えたコンセプト

自己肯定から他者への承認が生まれる、心の安全基地／無防備になれる圧倒的な居心地／「読み聞かせ」に象徴されるような人との温かなふれあい／純粋な知的的好奇心

発表シート

宣言文

この施設は **ほぼ家** です！

大切にするキーワード

① ほめる ② 自分を否定しない ③ リラックス

発表内容(要約)

(▼こんな空間にしたい！)

素敵な絵を描いた。ベッド、ソファ、椅子などで本の読み聞かせが行われている良いシーン。自宅のようにリラックスできる場所として、「ほぼ家」というワードが自然に立ちあがった。ワーク1でも、本を読む環境についてあげる意見が多かった。やすらぎ、靴を脱ぎたくなる、寝転がってみたいくなる、など。

(▼この施設でこうなりたい！)

楽しさ・わくわく感といった明るい感情と、知識が豊富になる、人の経験を味わい想像したくなる、真似したくなるなどの本の効能も意見にあがった。知識や自信をつけることで、自分を否定せずに大事にできるようになる場所。そうした効果が周りの人、その場で出会った人にも広がるような、例えば「褒め合う」などの温かなプロセスのある施設になるといい。

小まとめ：グループ対話から見えたコンセプト

自己肯定から他者への承認が生まれる、心の安全基地／無防備になれる圧倒的な居心地／「読み聞かせ」に象徴されるような人との温かなふれあい／純粋な知的的好奇心

発表シート

宣言文

この施設は **ほぼ家** です！

大切にするキーワード

① ほめる ② 自分を否定しない ③ リラックス

開催の概要

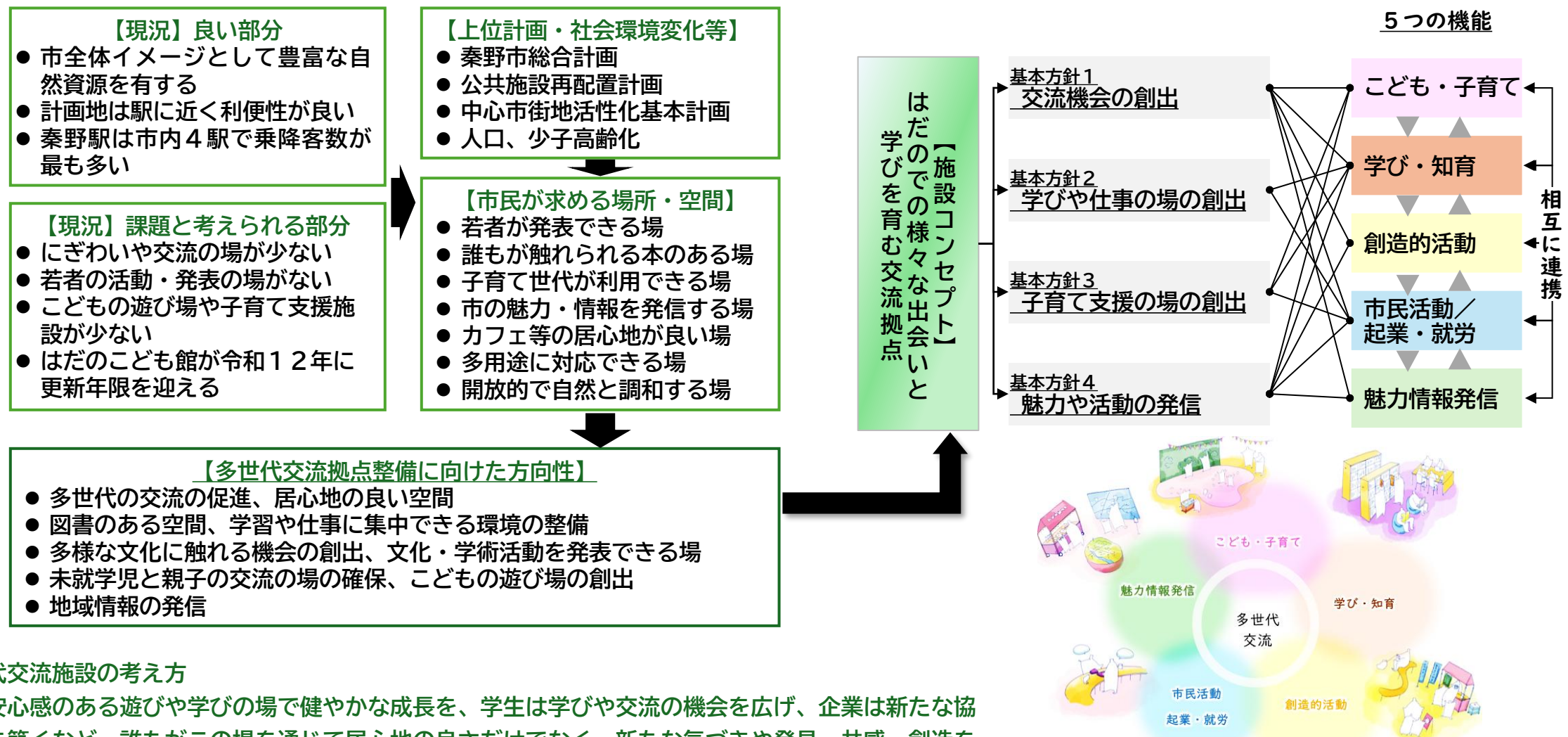
5月30日(土)、はだのこども館にて秦野市多世代交流施設に関する市民懇談会を開催し、高校生から高齢者まで多くの世代の方にご参加いただきました。

当日は、3月に策定した「秦野市多世代交流施設基本構想」に掲げている5つの機能やこれまでの意見などを踏まえ、多世代交流施設の各フロアのイメージや利用方法について、グループごとに意見交換をし、最後に各グループ発表を行いました。

これまでの主な取り組みの振り返り

- 令和6年 8月25日 はだのミライラボ 2024 夏（パネル式アンケート）
- 令和6年 9月28日～第76回秦野たばこ祭（パネル式アンケート・AI画家体験会）
- 令和6年10月 4日～多世代交流施設市民検討会（自治会代表者・若者代表者など）
- 令和7年 8月24日 市民ワークショップ（機能・用途）
- 令和7年10月18日 市民ワークショップ（利用方法）
- 令和7年11月22日 秦野市多世代交流施設整備に係る市民説明会
- 令和8年 2月21日 秦野市多世代交流施設整備基本構想説明会
- 同日 本を通じた対話・交流ワークショップ（交流体験含む）

当日はグループごとの意見交換の前に、秦野駅北口周辺の現状をはじめ、多世代交流拠点の方向性やコンセプト、基本方針、5つの機能との関係性について、参加者の皆さんと共通認識をもちました。



※多世代交流施設の考え方

親子は安心感のある遊びや学びの場で健やかな成長を、学生は学びや交流の機会を広げ、企業は新たな協力関係を築くなど、誰もがこの場を通じて居心地の良さだけでなく、新たな気づきや発見、共感、創造を通じた価値を見出します。

そのうえで、ハローワークを想定している3階を除いた各フロアのイメージに対する、主な意見は次のとおりでした。

1階 ウェルカムエリア(仮称) 開かれた雰囲気づくりや気軽に入りやすいフロアとして、こどものプレイルームや図書のある空間などをイメージ



- こどもも大人も楽しめるプレイルームがいい
- ネット遊具など他にはない遊具があるといい
- はだのこども館の多目的室と同等の広さのプレイルームがあるといい
- プレイルームが出入り口付近にあると、こどもが出入口から外に出てしまい危ないので、施設の奥側に配置するといい
- 図書館のような空間ではなく、ブックカフェのような空間がいい
- ふらっと立ち寄れて、ゆっくりくつろげる場所がいい
- 道路沿いから見えるような、立ち読みスペースがあるといい
- 飲食ができる空間や、年齢や時代に合った書籍があるといい
- カフェのような空間だけでなく、静かに読書を楽しむ空間もあるといい

2階 クリエイトエリア(仮称) 様々な交流などをして、多くの機会を創造できるフロアとして、中小規模な会議室や音楽スタジオ、コワーキングルームなどがある空間をイメージ



- これまでの公共施設よりも簡単な予約方法にしてほしい
- コワーキングルームやレンタルルームの利用料は、市内で起業する予定の人に対して優遇してもいい
- 音楽スタジオは、LUNA SEAにゆかりのある場所にしたい
- 学生向けの学習ルームを設けた方がいい
- 4階にも会議室があるので、2階の会議室は必要ない
- 1階の図書のある空間と異なる空間として、静かに過ごせる空間を設けたい
- コンサートや発表会、プレゼン大会ができるように、大きな空間があるといい
- 卓球台やボードゲームが充実していると、こどもや若者が遊びに来てもらえる
- 家族や友だち以外に相談できる場所を設けてもいい

4階 ワーキングエリア(仮称) 多くの人が話し合えるフロアとして、大規模な会議室や屋上がある空間をイメージ



- 4階の会議室を間仕切りなどで分けて、小さくも大きくも使えるようにしたい
- 屋上をテラスにして、緑や少し屋根を設けて、都会的な空間にして、花火大会では開放する
- 定期的に青空教室のようなイベントを実施したい
- 屋上には丘の広場を設けたり、芝生を敷くなど、斬新な空間にする
- 都会にはない、ほっとする空間を屋上に設ける
- 屋上で、富士山や丹沢山麓が見えるような空間がほしい
- 夏季は盆踊りなどができるように、広い空間にしてほしい
- 秦野駅北口周辺には公園がないので、屋上はこどもも大人も楽しめる空間がいい
- 屋上を設けるのではなく、2階以上にベランダのようなテラスを設けた方がいい

施設全体などへの意見

- 施設運営をサポートする市民は、施設利用料が減額される仕組みにしたら、地域と行政が一体となった施設運営に繋がると思う
- 四季を感じられるような空間にしてほしい
- 他の公共施設と連携した便利な施設にしてほしい
- 施設や県道の愛称をつけると、市民も愛着が湧く
- 施設利用は、なるべく自由度を高めてほしい
- 建物の形は画一的なものではなく、斬新なデザイン性を持たせたい
- ちょい飲みイベントなどの地域イベントとのコラボイベントができるといい
- JAはだの本町支所の施設が隣にあるので、施設の使い方を考えてほしい
- 市民だけでなく登山者などの来街者が立ち寄れる施設にしてほしい
- 施設予約について、なるべく簡単で難しくないようにしてほしい
- 施設利用の負担がないように、靴の脱ぎ履きがないようにしてほしい
- 開放された空間のために、なるべく扉を設けないようにして、会議室などはガラス張りにして、必要に応じてカーテンなどで目隠しできるといい

次回は、7月中に市民ガイダンスとして説明会を開催する予定です。
詳細は、後日に秦野市公式ホームページやSNS、はだののミライラボのInstagramで情報発信しますので、ご覧ください。



秦野市HP



秦野市LINE



@HADANONOMIRAI_KONWAKAI

本レポートに関するお問い合わせ先
秦野市役所環境産業部駅周辺にぎわい創造担当
電話 0463-82-9615
メール h-eki@city.hadano.kanagawa.jp

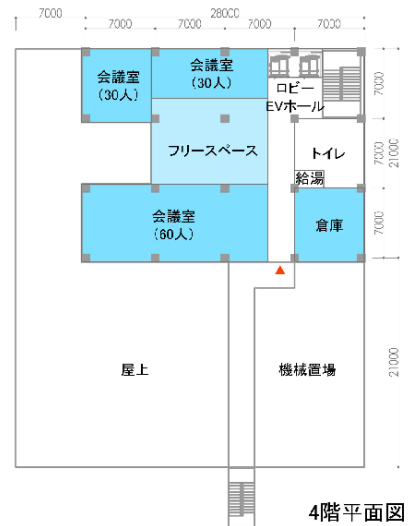
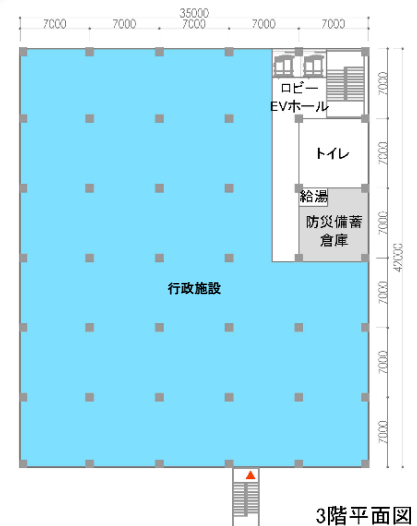
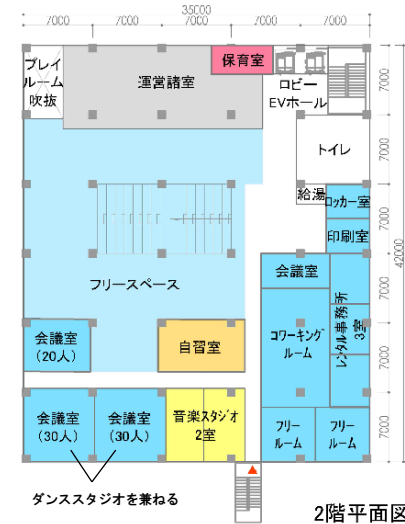
3 多世代交流施設整備計画案（導入機能・配置計画・平面計画）

※示しているプランは、事業収支を試算するためのモデル建物です。実際の設計は、受注した事業者が行います。
※多世代交流施設を整備するための用地取得の状況などに応じて、整備内容が変更になる可能性があります。

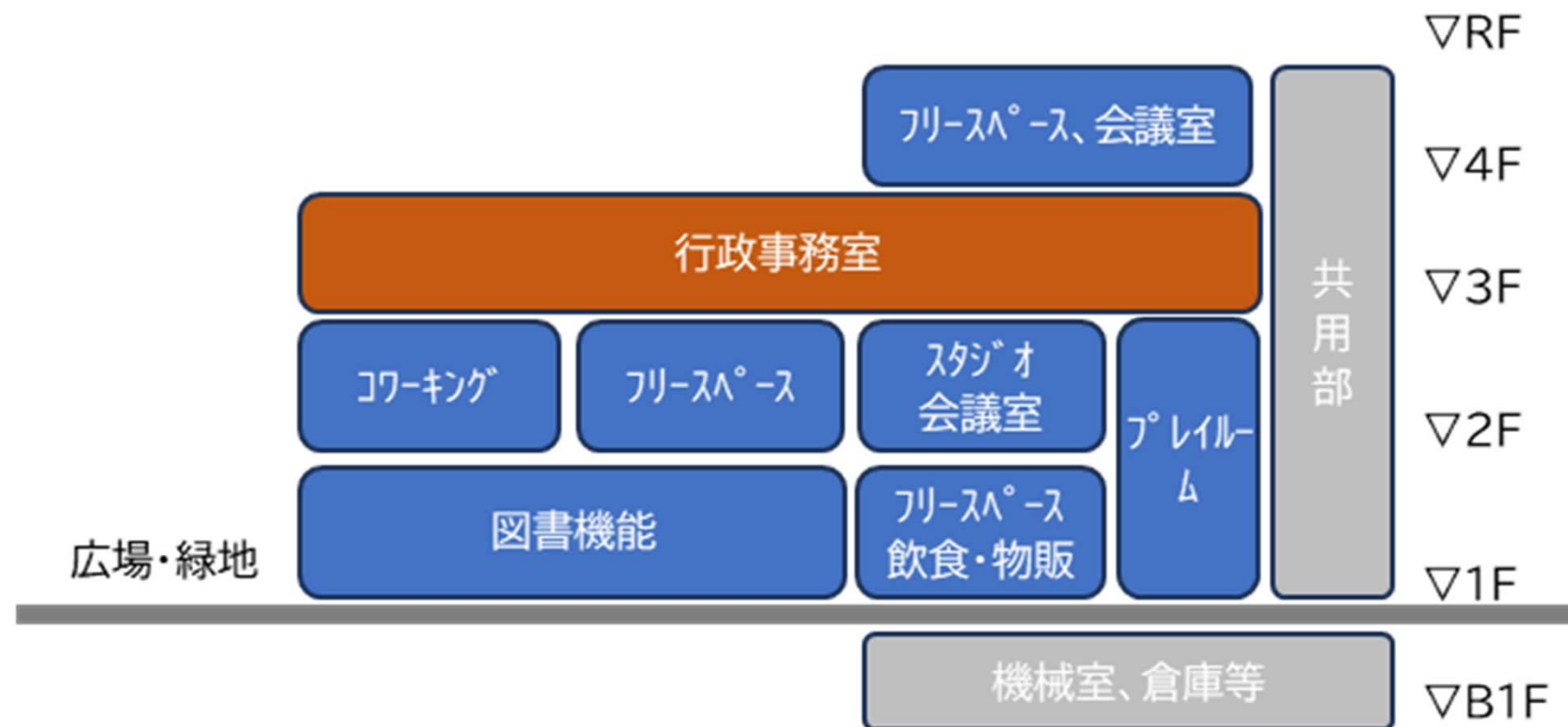
子育て機能 こども・	【屋内遊び場】	ネット遊具などを設けた屋内の遊び場（未就学児対象）
	【保育室】	こどもの一時預かりスペース
	【フリースペース】	交流スペース
学び・知育機能	【本のある交流スペース】	本を読みながらくつろげるスペース、本の販売、ワークショップスペース 自習コーナー 図書館の本の予約貸出・返却
	【自習室】	学生等が勉強するスペース
	【ダンス・音楽スタジオ】	防音仕様の貸室スタジオ
活動機能 創造的	【屋外広場】	イベント利用もできる屋外スペース
	【コワーキングルーム】	仕事等に集中できるスペース WEBブース、法人向けのレンタル事務室
	【会議室】	打合せ、教室、イベント等様々な使い方ができる貸会議室
起業・市民活動・就労機能	【フリースペース】	市民交流スペース
	【行政施設】	公共職業安定所
	【情報発信コーナー】	地域、イベント、施設のお知らせコーナー
発信機能 魅力情報	【飲食・物販】	カフェ・地元特産品等の販売



地上4階、地下1階
延べ面積5,540㎡



多世代交流施設の機能イメージ（施設内機能イメージ）

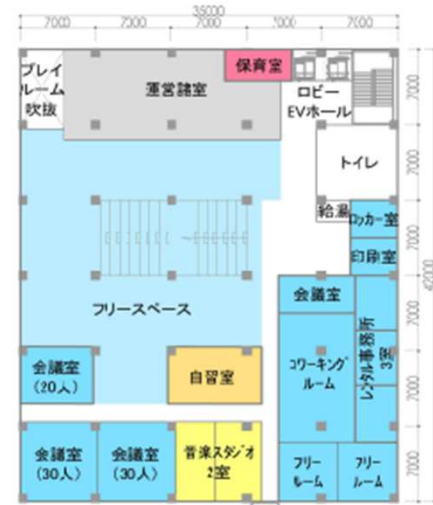
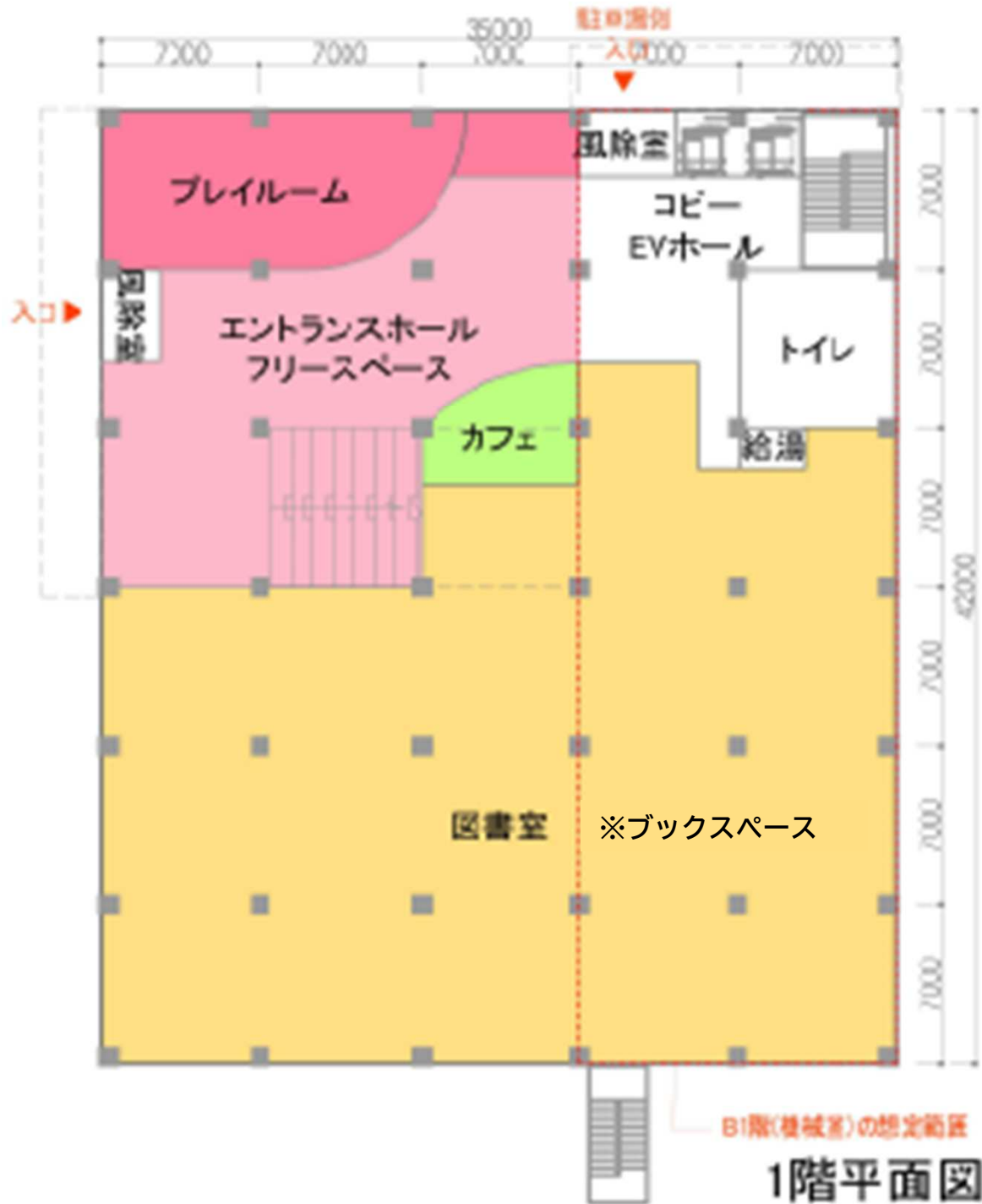


建築面積			約1,470㎡
延べ床面積	4階	会議室・フリースペース ※屋上広場を除く	約560㎡
	3階	行政機能（ハローワーク）等	約1,470㎡
	2階	会議室・コワーキングルーム・フリースペース・フリールーム・レンタル事務所・音楽スタジオ・自習室等	約1,440㎡
	1階	プレイルーム・フリースペース・図書室（ブックスペース）・カフェ等	約1,470㎡
	B1階	機械室、倉庫等	約600㎡
	合計		5,540㎡

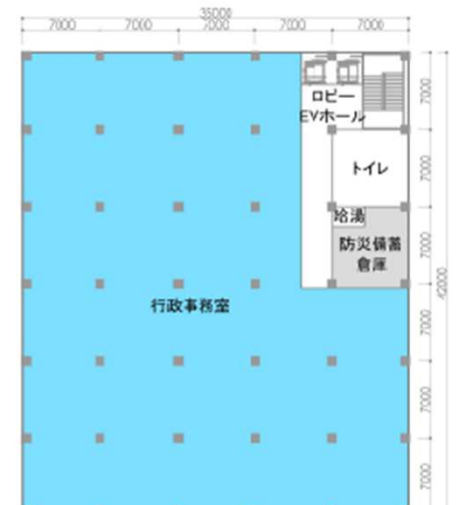
※上の図・表は、あくまでもイメージとして一例をお示ししているものです。

※施設内の具体的な機能の配置等については、市民等からの意見や民間事業者からの提案等に応じて変更します。

秦野市多世代交流施設 1 階（ウェルカムエリア（仮称））の主なイメージ



2階平面図



3階平面図



4階平面図

秦野市多世代交流施設1階（ウェルカムエリア（仮称））の主なイメージ

プレイルーム

主にこどもが活動する空間（約120㎡）

例：フロアを広く考えて、上部にネットを設置して、掴む・ぶら下がる・走る・寝転がるなど、幅広く遊べる空間も実現



図書館 ※ブックスペース

図書のある空間（約870㎡）

例：静かに読書や学習を楽しむ人だけでなく、オープンラウンジのように読書と会話や、併設されたカフェで軽食を楽しむ人のための空間も実現



秦野市多世代交流施設1階（ウェルカムエリア（仮称））の主なイメージ

エントランスホール
フリースペース

多世代交流施設の正面玄関・小規模広場（約171㎡）

例：小規模広場を使った、市の魅力や地域・学校・学生等による活動などのPR
大型モニターで、地元の魅力などの情報発信



ポスフォーレ みんなで作るプラットフォーム

知ってほしい

みんなに知らせたい!!

そのお知らせ、ポスフォーレがお手伝いします

情報は、アンフォーレ本館1階にある220インチの「大型マルチビジョン」に表示されます。

仲間を募集したい

イベントを告知したい

こんな時に
お役立てください

お知らせしたい

記念日を
残したい
※50インチのみ

あなたの
お知らせが
大画面に！

投稿内容の一例

- 安城マルシェを開催します！
- ヨガ教室のお知らせ
- オニス仲間を募集！
- 〇〇会社就職説明会を開催します
- 〇〇スーパー 木曜特売開催中！

「ポスフォーレ」ってなあに？

投稿内容の一例

- アンフォーレオープン日
- 〇〇会社の新品開発日

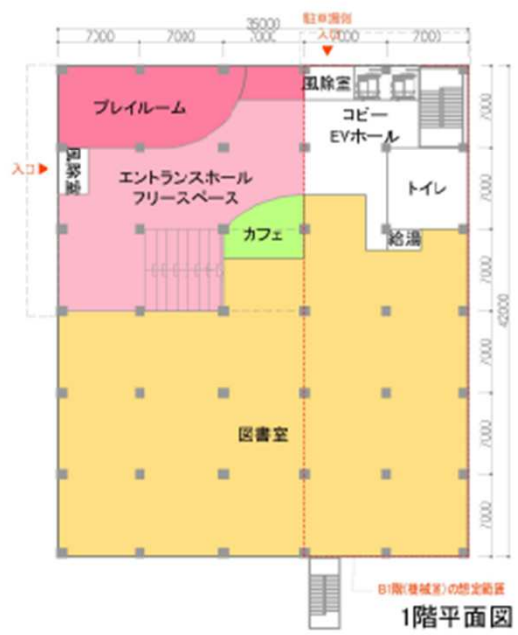
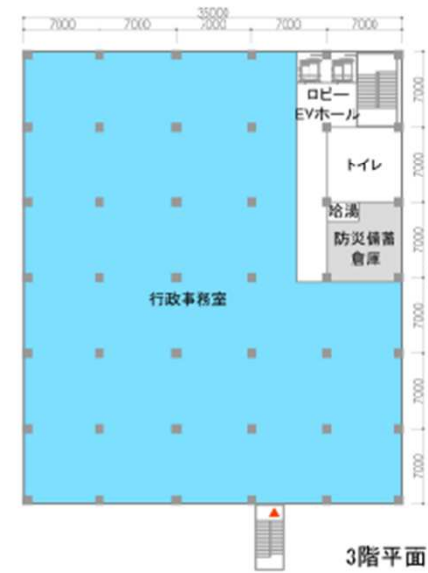
ポスフォーレは、誰でも簡単にイベントの告知や募集等の投稿が**無料**で、できるサービスです。

イベントや催事のPR、サークルや団体のメンバー募集などのお知らせを載せることができます。（アンフォーレが会場となっているイベント等に限られません。）
企業の求人広告やお店の紹介などの商業利用もOKです。

投稿された内容は、50インチタッチパネルの「フレしる」にも表示。

さらに、「フレしる」では、皆さんから投稿された記念日を集め、安城市のオリジナル記念日カレンダーを作っています。あなたの記念日もぜひ、投稿してください。

秦野市多世代交流施設2階（クリエイトエリア（仮称））の主なイメージ



2階平面図

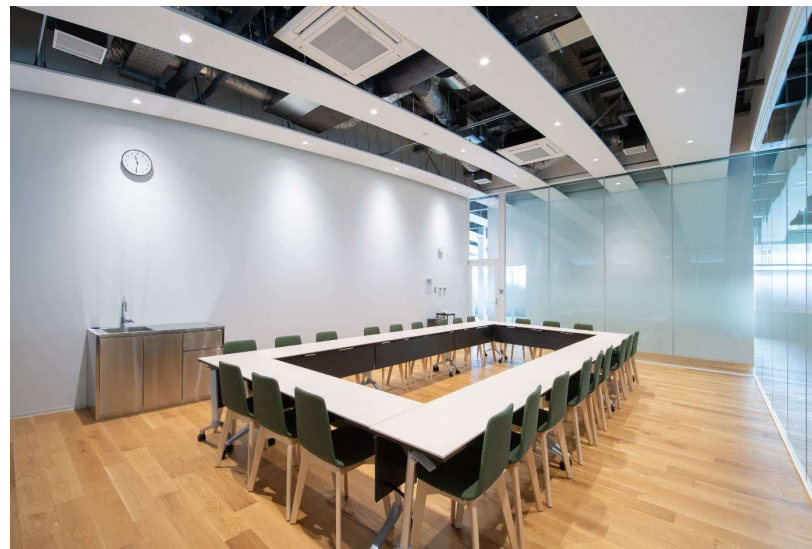
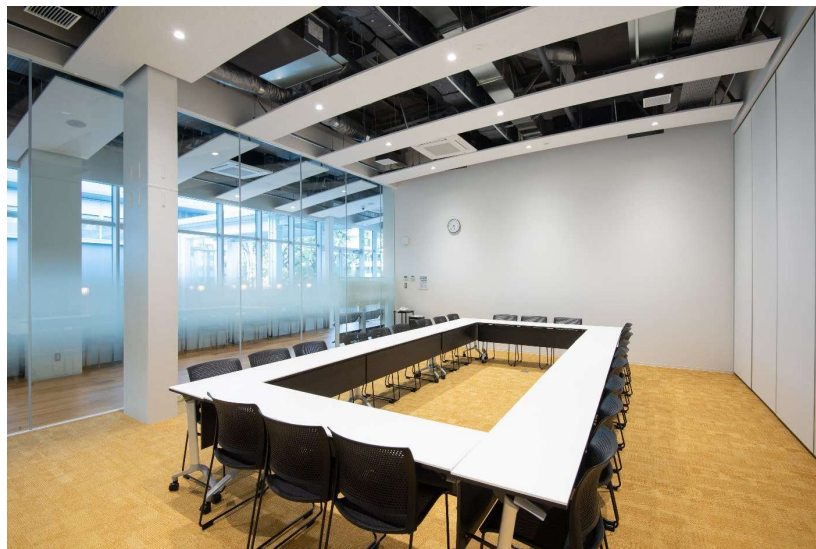
1階平面図

秦野市多世代交流施設2階（クリエイティブエリア（仮称））の主なイメージ

会議室

年代や性別に問わず、集会や会議などで使用できる空間
教室やセミナーなど、趣味や仕事などで使用できる。

例：地元住民での集会、地元事業者によるセミナー、地域団体による教室



コワーキングルーム

フリーランス、起業家、会社員などが場所や設備を共有しながら、
それぞれの仕事を行う共同のワークスペース



秦野市多世代交流施設2階（クリエイトエリア（仮称））の主なイメージ

音楽スタジオ

軽音楽器や金管楽器など、一般の部屋では楽しめない楽器を使用できる音楽活動ができる空間



自習室

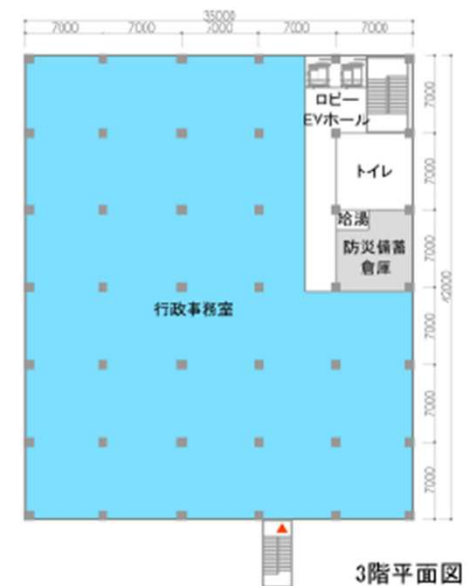
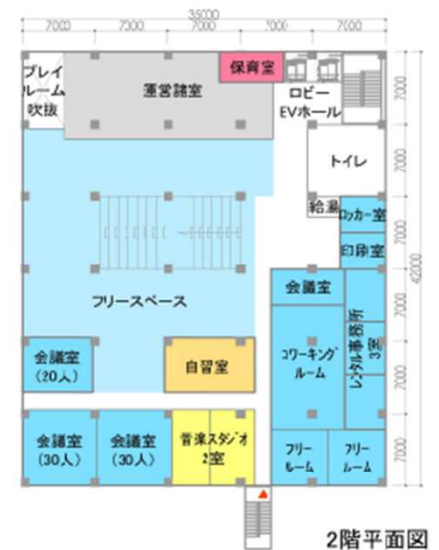
静かに学習や趣味を楽しむ空間



レンタル事務所

一時的に使用するコワーキングルームと違い、長期間、仕事場として利用する空間

秦野市多世代交流施設4階（ワーキングエリア（仮称））の主なイメージ



4階平面図

秦野市多世代交流施設4階（ワーキングエリア（仮称））の主なイメージ

会議室

年代や性別に問わず、集会や会議などで使用できる空間（2階にある会議室よりも大人数用）
教室やセミナーなど、趣味や仕事などで使用できる。
例：地元住民での集会、地元事業者によるセミナー、地域団体による教室



屋上・屋外

